超低床システム　ＴＩタイプ
施工・取扱説明書

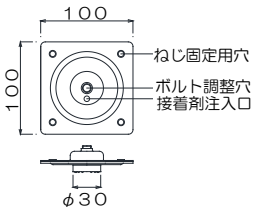
このたびは弊社二重床をご採用いただきありがとうございます。
製品の特性を十分に生かし、安全で美しい仕上がりに施工して
いただくために本書をよく読み、正しくお取り扱いください。
詳細な施工方法は、当社発行の施工要領書をご確認ください。

（お問い合わせ先）
販売元：万協株式会社
ＴＥＬ：03-5424-0707
製造元：泰成株式会社
ＴＥＬ：0265-83-1138
商品仕様は予告なく変更することがあります。
取替えパーツ供給可能期間は生産中止から１０年です。

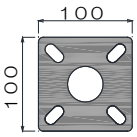
注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物質的損害の発生が想定される内容を示しています。

☆梱包内容の確認

支持脚
ＴＩ型



クッションゴムシート
ＴＩＣＧ



厚１mm×１００×１００

固定用（同梱）
床パネル固定用ねじ

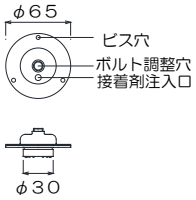


M6×24

ＴＩ型支持脚品番表		
品番	適応床高（mm）	梱包入数
ＴＩ−３３	３０〜３５	５０
ＴＩ−３８	３５〜４０	５０
ＴＩ−４８	４０〜５６	５０

ＴＩＳ型支持脚品番表		
品番	適応床高（mm）	梱包入数
ＴＩＳ−３３	３０〜３５	５０
ＴＩＳ−３８	３５〜４０	５０
ＴＩＳ−４８	４０〜５６	５０

ＴＩＳ型

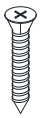


ＴＩＳＣＧ



厚１mm×φ６５

床パネル固定用ビス



M3.5×22

専用接着剤　BA−２００



施工要領書　QR コード

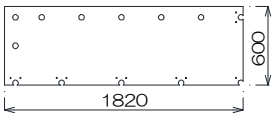
詳細な施工方法は当社発行の施工要領書をご確認ください。上記 QR コードよりリンクにアクセスいただき、施工要領書（TI タイプ）をクリックするとご覧いただけます。

注意　接着剤ラベルに書かれている注意事項をよく読んでご使用ください。

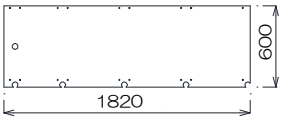
☆別途、用意するもの

① 床パネル（万協指定パーティクルボード　F☆☆☆☆）　※床パネルは濡らさないでください。

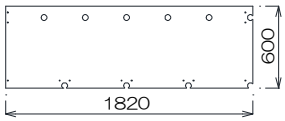
品番　ＬＰＢ−２０ａ　厚２０mm×６００mm×１８２０mm



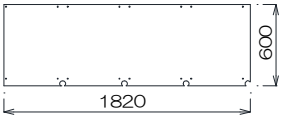
品番　ＬＰＢ−２０ｄ　厚２０mm×６００mm×１８２０mm



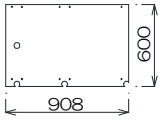
品番　ＬＰＢ−２０ｂ　厚２０mm×６００mm×１８２０mm



品番　ＬＰＢ−２０ｅ　厚２０mm×６００mm×１８２０mm



品番　ＬＰＢ−２０ｃ　厚２０mm×６００mm×９０８mm

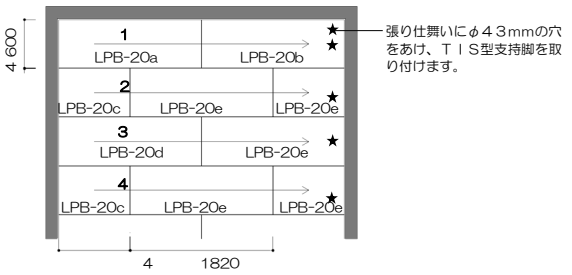


② グラスウール　厚１０mm×１０００mm×２０００mm
③ アスファルト系制振シート　厚８mm×５００mm×１０００mm
④ 合板（必要な場合のみ）
※捨貼固定する場合のビス固定の注意点（下記）
注１）９mm以下の合板を使用すると、釘・ビスが合板を突き抜け、合板の浮きが発生する恐れがあります。
注２）合板留め付けの釘・ビス等が床パネルを突き抜けると不具合が発生するため、床パネルを突き抜けない長さの釘・ビス等をご使用ください。

⑤ ガムテープ
⑥ 施工工具一式（下記）
- 電動ノコギリ（丸ノコ）
- ドライバー（プラスの２番）
- カッター
- 掃除用具（ほうき・ちりとり）
- ホールソー（φ４．３）
- ドリル（φ８．５）
- スクレイパー
- レーザー水平器
- スケール
- 水平器
- 水糸
- インパクトドライバー
- 定規

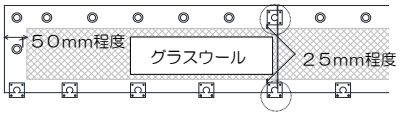
☆床パネルの割付・施工方法

注意 セルフレベリング材などで床スラブ面の平滑を確認します。施工前にスラブ面を清掃します。



① 端部用の床パネルの敷き込み・固定

ア）グラスウールの幅は台座プレート側面から２５mm程度空くサイズにカットします。張り始めのグラスウールは床パネルの端から１５０mm程度離して敷き始めてください。

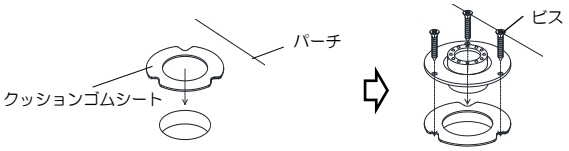


イ）壁際のパネル裏面に３００mmピッチ程度でＴＩＳ型支持脚を以下の順で取り付けていきます。

（１） クッションゴムシートをパーチに載せます。

（２） クッションゴムシートの切り欠きにビス穴を合わせて支持脚を取り付けます。

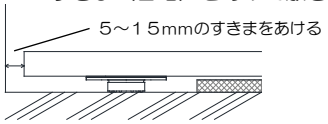
（３） ビスで３か所固定します。



壁際および内部の長手・短手方向の床パネル連結部にはＴＩ型支持脚を使用します。（後述の②「イ）」参照）

ウ）床パネルの敷き始めは、壁とすきまを5～１５mm設けます。

順にパーチを敷きこんでいきます。２枚目以降の床パネルは４mmのすきま（目地）をあけて敷き込みます。

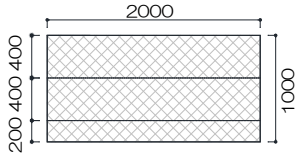


② 内部用の床パネルの敷き込み・固定

ア）グラスウール（幅１０００mm×長さ２０００）から４００mm×長さ２０００mmを２枚分、幅２００mm×長さ２０００mmを１枚分カットします。

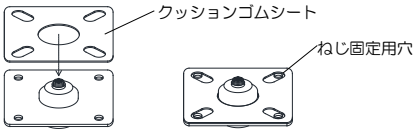
※幅２００mm×長さ２０００mmにカットしたグラスウールは、同サイズのグラスウールと組み合わせ、幅４００mm×２０００mmのグラスウールとして使用します。

敷き込みはパーチと同時進行で行います。



イ）ＴＩ型支持脚にクッションゴムシート（ＴＩＣＧ）を被せます。

※クッションゴムシートは、穴からねじ固定用穴が見えるように被せてください。



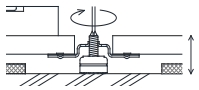
ＴＩ型支持脚

ウ）床パネルの短辺方向に４５６mmピッチでＴＩＳ型支持脚を取り付け、同梱の皿小ねじでパーチと支持脚を仮留めします。

張り仕舞いで床パネルの幅が２５０mm以下になる場合前列の張り始めの床 パネルの幅をカットし、２５０mm以上にしてください。

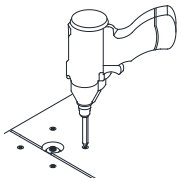


エ）床パネルを１枚張るごとに水平器を置き、プラスドライバーでボルトを廻し、床パネルを水平にします。



③ ねじ留め（本締め）

仮留めをしていた皿小ねじをインパクトドライバーでしっかり締めます。

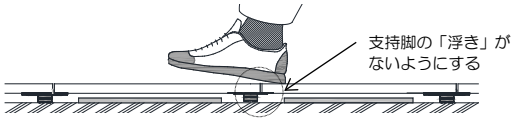


④ 点検

床全体を歩いて、支持脚の浮きがないかを確認します。

支持脚上を歩いて、他よりも柔らかく感じたら支持脚が浮いている可能性があります。

浮いている箇所を発見したら床スラブ面に支持脚が接地するまでボルトを廻してください。



⑤ 接着剤の塗布・注入

すべての支持脚に接着剤を注入します。

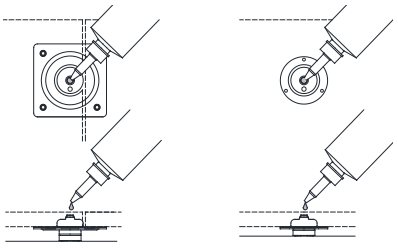
接着剤が硬化するまでには１～２日かかります。

この間は床上に重量物を置いたり、歩いたりしないでください。

接着剤はノズルキャップ１mm程度の位置でカットして使用します。

ア）台座中央部から接着剤を塗布し、台座プレートと支持ボルトを固定します。

接着剤の塗布量は１ｍｌです。



イ）接着剤注入口から接着剤を注入し、支持脚とスラブを固定します。

接着剤の注入量は２ｍｌです。

